

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

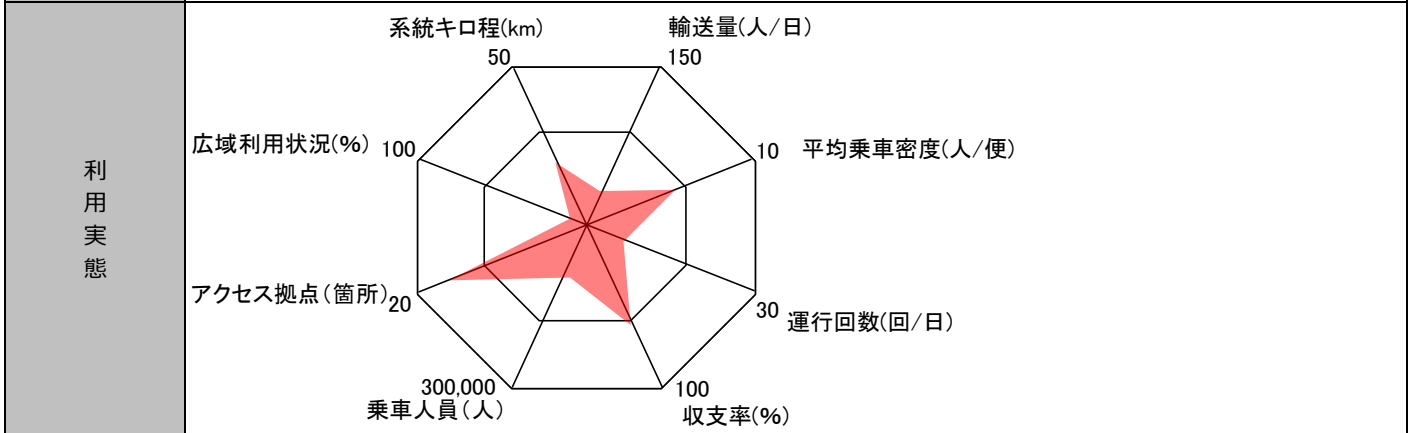
様式2

系統名	大久保線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	狸坂	山崎		
系統キロ程 (km)	17.7	輸送量 (人/日)	27.0		
平均乗車密度 (人/便)	4.1	運行回数 (回/日)	6.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松学院大学、浜松北高校、開誠館高校、浜松市立高校、浜松商業高校、静岡大学附属小・中学校、富塚小・中学校、神久呂中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅			
収支率 (%) (収益/費用)	50.9		乗車人員 (人)	85,212	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停13	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル バス停：田町中央通り、尾張町、市役所南、鹿谷町、浜松北高、富塚、富塚西、狸坂、神ヶ谷西平、大久保東		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	8.0				

増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。
-----	--

費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。
-------	---

沿線市町のサポート	別紙のとおり
-----------	--------



平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	大久保線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	狸坂	田端住宅		
系統キロ程 (km)	12.9	輸送量 (人/日)	23.1		
平均乗車密度 (人/便)	3.8	運行回数 (回/日)	6.1		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松学院大学、浜松北高校、開誠館高校、浜松市立高校、浜松商業高校、静岡大学附属小・中学校、富塚小・中学校、神久呂中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅			
収支率 (%) (収益/費用)	56.6		乗車人員 (人)	74,019	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停10	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル バス停：田町中央通り、尾張町、市役所南、鹿谷町、浜松北高、富塚、富塚西、狸坂、神ヶ谷西平、大久保東		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	1.1				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	伊佐見線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	伊佐見橋	山崎		
系統キロ程 (km)	16.6	輸送量 (人/日)	48.5		
平均乗車密度 (人/便)	4.3	運行回数 (回/日)	11.3		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松北高校、開誠館高校、浜松市立高校、海の星高校、広沢小学校、伊佐見小学校			
	病院	浜松病院、医療センター、湖東病院			
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅			
収支率 (%) (収益/費用)	55.8		乗車人員 (人)	163,258	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停12	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル バス停：田町中央通り、尾張町、市役所南、鹿谷町、医療センター、佐鳴台五丁目、富塚西、狸坂、神田原、伊佐見橋、古入見東、山崎		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	1.2				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50</p> <p>輸送量(人/日) 150</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>運行回数(回/日) 30</p> <p>収支率(%) 100</p> <p>乗車人員(人) 300,000</p> <p>広域利用状況(%) 100</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	浜名線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	舞阪協働センター	湖西市役所		
系統キロ程 (km)	22.5	輸送量 (人/日)	28.0		
平均乗車密度 (人/便)	5.0	運行回数 (回/日)	5.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	可美中学校、篠原小学校、新居小学校			
	病院	湖西病院			
	商業施設				
	その他	スズキ、湖西市役所、舞阪協働センター、JR浜松、高塚駅、舞阪駅、弁天島駅、新居町駅、鷺津駅			
収支率 (%) (収益/費用)	56.7		乗車人員 (人)	111,286	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点4 バス停5	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、新居町駅、鷺津駅、弁天島温泉駅 バス停：成子坂、新居栄町、清源坂、本興寺前、湖西市民会館		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	16.3				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	笠井高台線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	笠井上町	山東		
系統キロ程（km）	23.5	輸送量（人/日）	18.3		
平均乗車密度（人/便）	5.1	運行回数（回/日）	3.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	西遠学園、天竜高校、清滝中学校、与進小学校			
	病院	労災病院			
	商業施設	浜松プラザ			
	その他	浜松市天竜区役所、JR浜松駅、遠鉄西鹿島駅			
収支率（%） （収益/費用）	61.9		乗車人員（人）	70,397	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停14	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、遠鉄西鹿島駅 バス停：広小路、労災病院、宮竹、原島、市野上、恒武、笠井本町、笠井上町、東河原上、南中瀬、鹿島橋、秋野不矩美術館入口、二俣横町、山東		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	7.8				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	浜北医大三方原聖隷線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	三方原聖隷	染地台 なゆた浜北	浜北 区役所		
系統キロ程 (km)	18.9		輸送量 (人/日)	38.1	
平均乗車密度 (人/便)	4.6		運行回数 (回/日)	8.3	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	聖隷クリストファー高校・大学、浜松工業高校、日体高校、医科大学			
	病院	聖隷三方原病院			
	商業施設				
	その他	浜松市浜北区役所、遠鉄浜北駅、小松駅			
収支率 (%) (収益/費用)	52.0		乗車人員 (人)	93,498	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停13	名称	拠点：遠鉄小松駅、なゆた浜北 バス停：聖隷三方原病院、根洗、都田口西、都田口、曳馬野、浜工高前、三方原営業所、半田、環状線入口、染地台3丁目、内野台一丁目、内野台三丁目、浜北区役所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	50.2				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50</p> <p>輸送量(人/日) 150</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>運行回数(回/日) 30</p> <p>収支率(%) 100</p> <p>乗車人員(人) 300,000</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p> <p>広域利用状況(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	渋川線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	追分	渋川儀光		
系統キロ程（km）	36.3	輸送量（人/日）	31.3		
平均乗車密度（人/便）	5.7	運行回数（回/日）	5.5		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	静岡大学、浜松北高校、浜松市立高校、開誠館高校、浜松湖北高校、北星中学校			
	病院	聖隷浜松病院			
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅、天竜浜名湖鉄道金指駅			
収支率（%） （収益/費用）	54.0		乗車人員（人）	114,209	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停18	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、天竜浜名湖鉄道金指駅 バス停：田町中央通り、ゆりの木通り、元城町、市役所南、鹿谷町、浜松北高、六間坂上、住吉町、和合町、葵町、追分、北星中学入口、新豊院、根洗、祝田、浜松湖北高校前、井伊谷、渋川		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	31.0				
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。				
	費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。			
沿線市町のサポート		別紙のとおり			
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	渋川線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	追分	伊平		
系統キロ程 (km)	21.8	輸送量 (人/日)	33.1		
平均乗車密度 (人/便)	5.1	運行回数 (回/日)	6.5		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	静岡大学、浜松北高校、浜松市立高校、開誠館高校、浜松湖北高校、北星中学校			
	病院	聖隷浜松病院			
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅、天竜浜名湖鉄道金指駅			
収支率 (%) (収益/費用)	62.9		乗車人員 (人)	96,356	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停17	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、天竜浜名湖鉄道金指駅 バス停：田町中央通り、ゆりの木通り、元城町、市役所南、鹿谷町、浜松北高、六間坂上、住吉町、和合町、葵町、追分、北星中学入口、新豊院、根洗、祝田、引佐高校前、井伊谷		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	28.9				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク＆ライド、サイクル＆ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 ・点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	城之崎線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	磐田駅	東新町	浅羽中学		
系統キロ程 (km)	11.0	輸送量 (人/日)	20.1		
平均乗車密度 (人/便)	3.1	運行回数 (回/日)	6.5		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浅羽中学校、浅羽北小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	袋井市浅羽支所、NTT磐田製作所、JR磐田駅			
収支率 (%) (収益/費用)	48.6		乗車人員 (人)	54,005	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停5	名称	拠点：JR磐田駅 バス停：城之崎、西貝塚北、東貝塚、東新町、新出		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	13.9				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエゴに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエゴドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	磐田市立病院福田線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	磐田市立病院	磐田駅	豊浜郵便局		
系統キロ程 (km)	19.6	輸送量 (人/日)	60.8		
平均乗車密度 (人/便)	3.9	運行回数 (回/日)	15.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	磐田南高校、磐田北小学校			
	病院	新都市病院、磐田市立病院			
	商業施設				
	その他	磐田市役所、磐田市福田支所、JR磐田駅			
収支率 (%) (収益/費用)	52.4		乗車人員 (人)	199,319	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停11	名称	拠点：JR磐田駅 バス停：磐田市立病院、大久保東原、二階家、井戸ヶ谷、磐田北小、西坂町、加茂川、新道、前嶋、福田交番前、福田営業所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	30.8				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
	費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 ・点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 			
沿線市町のサポート		別紙のとおり			
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 3.9</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 15.6</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 52.4</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	中ノ町磐田線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	中ノ町	磐田営業所		
系統キロ程 (km)	17.4	輸送量 (人/日)	123.9		
平均乗車密度 (人/便)	5.9	運行回数 (回/日)	21.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	西遠学園、磐田西高校、磐田南高校、中ノ町小学校、磐田西小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	磐田市役所、JR浜松駅、JR磐田駅			
収支率 (%) (収益/費用)	72.3		乗車人員 (人)	396,650	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停8	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、磐田駅 バス停：広小路、子安、磐田石原、加茂川、国道加茂川、見付、富士見町、磐田営業所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	15.5				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	北遠本線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	西鹿島駅	横山車庫	水窪町		
系統キロ程 (km)	51.9	輸送量 (人/日)	15.5		
平均乗車密度 (人/便)	3.1	運行回数 (回/日)	5.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	天竜高校、清滝中学校、光が丘中学校、横山小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	浜松市天竜区役所、龍山協働センター、水窪協働センター、遠鉄西鹿島駅、JR飯田線相月駅、水窪駅			
収支率 (%) (収益/費用)	25.9		乗車人員 (人)	59,051	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停4	名称	拠点：遠鉄西鹿島駅、相月駅 バス停：鹿島橋、秋野不矩美術館入口、二俣横町、山東		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	33.9				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50</p> <p>輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p> <p>運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000</p> <p>収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	秋葉線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	春野車庫	-	西鹿島駅		
系統キロ程 (km)	23.4	輸送量 (人/日)	20.5		
平均乗車密度 (人/便)	4.1	運行回数 (回/日)	5.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	天竜高校、天竜高校春野校舎、清滝中学校、光が丘中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	浜松市天竜区役所、遠鉄西鹿島駅			
収支率 (%) (収益/費用)	48.9		乗車人員 (人)	59,837	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停6	名称	拠点：遠鉄西鹿島駅 バス停：横川、下すがり入口、山東、二俣横町、秋野不矩美術館入口、鹿島橋		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	35.0				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 ・点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	秋葉線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	春野車庫	西鹿島駅	厚生会		
系統キロ程 (km)	26.7	輸送量 (人/日)	20.0		
平均乗車密度 (人/便)	4.0	運行回数 (回/日)	5.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	天竜高校、天竜高校春野校舎、清滝中学校、光が丘中学校			
	病院	天竜病院、厚生会			
	商業施設				
	その他	浜松市天竜区役所、遠鉄西鹿島駅			
収支率 (%) (収益/費用)	45.8		乗車人員 (人)	71,917	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停7	名称	拠点：遠鉄西鹿島駅 バス停：横川、下すがり入口、山東、二俣横町、秋野不矩美術館入口、鹿島橋、天竜病院坂下		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	21.8				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	磐田天竜線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	山東	新開	磐田駅		
系統キロ程（km）	21.7	輸送量（人/日）	60.0		
平均乗車密度（人/便）	4.8	運行回数（回/日）	12.5		
公共・拠点施設状況	学校	天竜高校、磐田南高校、磐田西小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	県中遠総合庁舎、磐田市役所、浜松市天竜区役所、JR磐田駅、遠鉄西鹿島駅、天竜浜名湖鉄道豊岡、二俣駅			
収支率（%） （収益/費用）	59.4		乗車人員（人）	162,276	
乗換可能なアクセス拠点等	拠点2 バス停10	名称	拠点：JR磐田駅、天竜浜名湖鉄道二俣駅 バス停：山東、二俣横町、秋野不矩美術館入口、寺谷上、火ノ見、匂坂中村、三ツ入下、宝新道、西坂町、加茂川		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	62.4				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエロに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 ・点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	磐田天竜線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	山東	ららぽーと 磐田	磐田駅		
系統キロ程（km）	24.7	輸送量（人/日）	60.2		
平均乗車密度（人/便）	4.4	運行回数（回/日）	13.7		
公共・拠点施設	学校	天竜高校、磐田南高校、磐田西小学校			
	病院				
	商業施設	ららぽーと磐田			
	その他	県中遠総合庁舎、磐田市役所、浜松市天竜区役所、JR磐田駅、遠鉄西鹿島駅、天竜浜名湖鉄道豊岡、二俣駅			
収支率（%） （収益/費用）	53.3		乗車人員（人）	185,335	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停10	名称	拠点：JR磐田駅、天竜浜名湖鉄道二俣駅 バス停：山東、二俣横町、秋野不矩美術館入口、寺谷上、火ノ見、匂坂中村、三ツ入下、宝新道、西坂町、加茂川		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	32.9				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 ・点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	掛塚さなる台線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	掛塚 駒場	横須賀 車庫		
系統キロ程（km）	26.3		輸送量（人/日）	37.4	
平均乗車密度（人/便）	4.8		運行回数（回/日）	7.8	
公共・拠点 アクセス 状況	学校	浜松修学舎、横須賀高校、竜洋西小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	磐田市福田支所、掛川市大須賀支所、JR浜松駅			
収支率（%） （収益/費用）	54.4		乗車人員（人）	114,564	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停10	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル バス停：東部協働センター、名塚西、芳川西、芳川、金洗西、鮫島西、新道、前嶋、福田営業所、福田交番前		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	50.5				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	掛塚さなる台線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	掛塚	豊浜郵便局		
系統キロ程 (km)	17.3	輸送量 (人/日)	17.9		
平均乗車密度 (人/便)	3.9	運行回数 (回/日)	4.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松修学舎、竜洋西小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	磐田市福田支所、JR浜松駅			
収支率 (%) (収益/費用)	52.0		乗車人員 (人)	54,324	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停9	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル バス停：東部協働センター、名塚西、芳川西、芳川、金洗西、鯉島西、新道、前嶋、福田営業所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	33.7				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	掛塚さなる台線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	掛塚・とつか	豊田町駅		
系統キロ程 (km)	14.6	輸送量 (人/日)	40.1		
平均乗車密度 (人/便)	4.1	運行回数 (回/日)	9.8		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松修学舎、竜洋西小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	JR浜松駅、豊田町駅			
収支率 (%) (収益/費用)	56.2		乗車人員 (人)	107,994	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停6	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、豊田町駅 バス停：東部協働センター、名塚西、芳川西、芳川、金洗西、金洗東		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	37.9				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	掛塚さなる台線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	掛塚・千手堂	磐田駅		
系統キロ程 (km)	14.8	輸送量 (人/日)	38.1		
平均乗車密度 (人/便)	4.1	運行回数 (回/日)	9.3		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松修学舎、竜洋西小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	JR浜松駅、磐田駅			
収支率 (%) (収益/費用)	57.2		乗車人員 (人)	103,950	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停10	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、磐田駅 バス停：東部協働センター、名塚西、芳川西、芳川、金洗西、小島中村、神明、万正寺、天竜、磐田石原		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	29.8				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	内野台線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	-	内野台車庫		
系統キロ程 (km)	12.6	輸送量 (人/日)	85.2		
平均乗車密度 (人/便)	5.5	運行回数 (回/日)	15.5		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松北小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅、遠鉄上島駅			
収支率 (%) (収益/費用)	75.8		乗車人員 (人)	159,074	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停8	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、遠鉄上島駅 バス停：田町中央通り、尾張町、上島西、半田、環状線入口、内野台一丁目、内野台三丁目、内野台車庫		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	40.4				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	内野台線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	内野台車庫	サンストリート浜北		
系統キロ程 (km)	13.8	輸送量 (人/日)	45.7		
平均乗車密度 (人/便)	4.2	運行回数 (回/日)	10.9		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松北小学校			
	病院				
	商業施設	サンストリート浜北			
	その他	浜松市役所、JR浜松駅、遠鉄上島駅			
収支率 (%) (収益/費用)	57.1		乗車人員 (人)	98,532	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停10	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、遠鉄上島駅 バス停：田町中央通り、尾張町、上島西、半田、環状線入口、内野台一丁目、内野台三丁目、内野台車庫、妙蓮寺前、グリーンアリーナ入口		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	33.5				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小中学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	磐田市立病院福田線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	磐田駅南口	-	豊浜郵便局		
系統キロ程 (km)	9.4		輸送量 (人/日)	39.4	
平均乗車密度 (人/便)	2.9		運行回数 (回/日)	13.6	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	静岡産業大学			
	病院	新都市病院			
	商業施設				
	その他	磐田市福田支所、JR磐田駅			
収支率 (%) (収益/費用)	47.9		乗車人員 (人)	80,638	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停5	名称	拠点：JR磐田駅南口 バス停：静岡産業大学入口、新道、前嶋、福田交番前、福田営業所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	66.8				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク＆ライド、サイクル＆ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 ・点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	引佐線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	浜松湖北高校	気賀駅前		
系統キロ程（km）	18.6	輸送量（人/日）	40.0		
平均乗車密度（人/便）	6.9	運行回数（回/日）	5.8		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	静岡大学、浜松北高校、浜松市立高校、開誠館高校、浜松湖北高校			
	病院	聖隷浜松病院			
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅、天浜線金指駅、天浜線気賀駅			
収支率（%） （収益/費用）	87.4		乗車人員（人）	99,373	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停19	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、天浜線金指駅、天浜線気賀駅 バス停：田町中央通り、ゆりの木通り、元城町、市役所南、鹿谷町、浜松北高、六間板上、住吉町、和合町、葵町、追分、北星中学入口、新豊院、根洗、祝田、浜松湖北高校、清水橋、気賀四ツ角、片町		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	30.6				
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。				
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	萩丘都田線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	-	染地台三丁目		
系統キロ程 (km)	12.3	輸送量 (人/日)	30.0		
平均乗車密度 (人/便)	6.0	運行回数 (回/日)	5.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浜松学芸高校、浜松学院高校			
	病院				
	商業施設				
	その他	浜松市役所、JR浜松駅			
収支率 (%) (収益/費用)	88.1		乗車人員 (人)	70,578	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停9	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル バス停：かじ町、元城町、市役所前、浜松城公園入口、常楽寺、上島西、萩丘、長池、三方原営業所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	10.3				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	大塚ひとみヶ丘線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	湖東高校・ひとみヶ丘東	山崎		
系統キロ程（km）	15.2	輸送量（人/日）	63.0		
平均乗車密度（人/便）	7.0	運行回数（回/日）	9.0		
公共・拠点施設	学校	浜松学院大学・浜松北高校・開誠館高校・浜松市立高校・浜松商業高校・浜松湖東高校 附属中学校・富塚中学校・神久呂中学校・附属小学校・富塚小学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	神久呂協働センター、浜松市役所、JR浜松駅			
収支率（%） （収益/費用）	96.2		乗車人員（人）	167,739	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停11	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル バス停：田町中央通り、尾張町、市役所前、鹿谷町、浜松北高、富塚、富塚西、狸坂、神田原、古人見東、山崎		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	1.4				
増収策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。 				
費用削減策	<p>●事業者としての取組</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成29年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	気賀三ヶ日線			事業者名	遠州鉄道株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	浜松駅	気賀四ッ角	三ヶ日車庫		
系統キロ程（km）	29.3	輸送量（人/日）	139.4		
平均乗車密度（人/便）	6.8	運行回数（回/日）	20.5		
公共・拠点施設	学校	静岡大学、聖隷クリストファー大学、浜松北高校、浜松市立高校、開誠館高校、浜松湖北高校			
	病院	聖隷浜松病院、聖隷三方原病院			
	商業施設				
	その他	浜松市役所、北区役所、三ヶ日協働センター、JR浜松駅、天浜金指駅、天浜気賀駅			
収支率（%） （収益/費用）	73.3		乗車人員（人）	470,262	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点3 バス停19	名称	拠点：JR浜松駅バスターミナル、金指、気賀駅前 バス停：田町中央通り、ゆりの木通り、元城町、市役所南、鹿谷町、浜松北高、六間坂上、住吉町、和合町、葵町、追分、北星 中学入口、新豊院、根洗、祝田、引佐高校前、清水橋、気賀四ッ角、片町		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	29.3				
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ・運賃箱データにより、遅れ・利用人員・利用区間・支払方法等を曜日別や時間帯別に把握し、合理的なダイヤを作成する。 ・小学生向けバス教室を実施し、バスの乗り方やエコに関する説明を行う。 ・ナイスバス（ICカード）へのオートチャージ（自動積増）の利用促進。 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進。 ・遠鉄ストアでのナイスバス、定期券の出張販売及び路線バスPR。 【実績】 ・3月にダイヤ改正を実施。遅れ状況等を確認し、所要時分の見直しを行った。 ・主に小学2年生を対象に、各学校にてバス教室を開催。 ・小学生向けの「バスの乗り方DVD」を作成して、浜松市内の小学校を中心に配布。 ・えんてつカードからナイスバスへのオートチャージキャンペーンを実施。 ・大河ドラマ「井伊直虎」の放送開始に合わせて、セット券（バス運賃＋入館料等）を販売。				
	費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。 点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。 ・多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。			
沿線市町のサポート		別紙のとおり			
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150 広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10 アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30 乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成28年度 遠州鉄道株式会社 補助対象系統路線図

